

**工事の総合評価落札方式に係る
評価基準等の一部見直しについて(差替)
【平成28年度 10月期】**

総合評価落札方式の定着・拡充を図るため、一部評価基準等を見直し、平成28年10月1日以降の公告案件より適用する。

平成28年10月 1日
九州地方整備局 港湾空港部

見直しの 内容

1. 技術提案評価型(WTO型・S型)の評価基準の見直し	1
2. 企業・技術者評価	
(1) 「企業の施工能力」評価の見直し	
1) 「使用作業船の保有形態及び環境性能達成状況」の配点※	2
(2) 「配置予定技術者等の能力」評価の見直し	
1) 「配置予定技術者の地域精通度」の設定エリア	4
3. 総合評価落札方式のタイプ毎の配点	
(1) 「配点割合」の見直し	
【施工能力評価型(Ⅱ型)[標準タイプ、A等級向けタイプ]・(Ⅰ型)[標準型]】	5
(2) 「総合評価落札方式のタイプ毎のオプション選択数」の見直し	6
(3) 「企業の施工能力 工事实績(同種性)の評価」の配点	
【施工能力評価型(Ⅱ型)[A等級向けタイプ]】	8
4. オーバースペック等の理由により評価しない技術提案の見直し	9

※：追加箇所



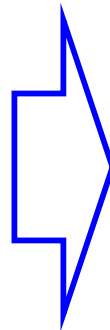
1. 技術提案評価型（WTO型・S型）の評価基準の見直し

◆技術提案評価型については、品質向上の効果を「有効性」、「確実性」、「具体性」の組み合わせで評価しているが、提案の中に品質向上効果が標準案に近い提案が散見されるため、新たに「d」【S評価(1.0点)】を設けて評価にメリハリを付ける。

【現行】:19段階

【技術提案の「有効性」、「確実性」、「具体性」の組み合わせによる最終判定及び評価点】

最終的な「評価」の判定	「有効性」、「確実性」、「具体性」の組み合わせ				
	有効性「a」の場合	有効性「b ⁺ 」の場合	有効性「b」の場合	有効性「c ⁺ 」の場合	有効性「c」の場合
A評価 (10.0点)	aaa				
B評価 (9.5点)	aab aba				
C評価 (9.0点)	aac abb aca				
D評価 (8.5点)	abc acb				
E評価 (8.0点)	acc				
F評価 (7.5点)		b ⁺ aa			
G評価 (7.0点)		b ⁺ ab b ⁺ ba			
H評価 (6.5点)		b ⁺ ac b ⁺ bb b ⁺ ca	baa		
I評価 (6.0点)		b ⁺ bc b ⁺ cb	bab bba		
J評価 (5.5点)		b ⁺ cc	bac bbb bca		
K評価 (5.0点)			bbe beb		
L評価 (4.5点)			bce	c ⁺ aa	
M評価 (4.0点)				c ⁺ ab c ⁺ ba	
N評価 (3.5点)				c ⁺ ac c ⁺ bb c ⁺ ca	caa
O評価 (3.0点)				c ⁺ bc c ⁺ cb	cab cba
P評価 (2.5点)				c ⁺ cc	eac ebb cca
Q評価 (2.0点)					cbe ccb
R評価 (1.5点)					ccc
「-」評価	標準案と工事の品質が同等				



【見直し】:20段階

【技術提案の「有効性」、「確実性」、「具体性」の組み合わせによる最終判定及び評価点】

最終的な「評価」の判定	「有効性」、「確実性」、「具体性」の組み合わせ					「d」の場合
	有効性「a」の場合	有効性「b ⁺ 」の場合	有効性「b」の場合	有効性「c ⁺ 」の場合	有効性「c」の場合	
A評価 (10.0点)	aaa					
B評価 (9.5点)	aab aba					
C評価 (9.0点)	aac abb aca					
D評価 (8.5点)	abc acb					
E評価 (8.0点)	acc					
F評価 (7.5点)		b ⁺ aa				
G評価 (7.0点)		b ⁺ ab b ⁺ ba				
H評価 (6.5点)		b ⁺ ac b ⁺ bb b ⁺ ca	baa			
I評価 (6.0点)		b ⁺ bc b ⁺ cb	bab bba			
J評価 (5.5点)		b ⁺ cc	bac bbb bca			
K評価 (5.0点)			bbe beb			
L評価 (4.5点)			bce	c ⁺ aa		
M評価 (4.0点)				c ⁺ ab c ⁺ ba		
N評価 (3.5点)				c ⁺ ac c ⁺ bb c ⁺ ca	caa	
O評価 (3.0点)				c ⁺ bc c ⁺ cb	cab cba	
P評価 (2.5点)				c ⁺ cc	eac ebb cca	
Q評価 (2.0点)					cbe ccb	
R評価 (1.5点)					ccc	
「-」評価	標準案と工事の品質が同等					d

1. 企業・技術者評価

(1) 「企業の施工能力」評価の見直し

1) 「使用作業船の保有形態及び環境性能達成状況」の配点

◆作業船の新造及び環境負荷の低い船舶への更新を促すために平成26年度より【企業の施工能力】において『使用作業船の保有形態及び環境性能達成状況』を評価。

◆これまで、A等級対象工事のみ配点を最大4点とし、それ以外は最大2点としていたが、全等級を対象に最大4点とするとともに、基準を明確化し配点ウェイトの見直しを行う。(全国統一の取り組み)

◆評価となる原動機には、経過措置として従前の海防法の規制を受ける原動機を含むものとするが、配点についての記載がなかったため追加する。

評価項目		施工能力評価型(Ⅱ型)[標準型、A型]、施工能力評価型(Ⅰ型)[標準型]、技術提案評価型(S型)							
		配点						満点	
		保有形態			環境性能				
					環境性能達成		環境性能未達成		
1次規制	2次規制								
企業の施工能力	作業船の保有形態及び環境性能達成状況	自社保有		2.00	1.00	2.00	0.00	4.00	
		共同保有	持ち分比率	50%以上	2.00	1.00	2.00	0.00	4.00
				20%以上50%未満	1.00	1.00	2.00	0.00	3.00
				20%未満	0.50	1.00	2.00	0.00	2.50
		借上、リース(ファイナンスリース除く)、下請保有船		0.00	1.00	2.00	0.00	2.00	

評価項目		施工能力評価型(Ⅰ型)[施工計画重視型]							
		配点						満点	
		保有形態			環境性能				
					環境性能達成		環境性能未達成		
1次規制	2次規制								
企業の施工能力	作業船の保有形態及び環境性能達成状況	自社保有		1.00	0.50	1.00	0.00	2.00	
		共同保有	持ち分比率	50%以上	1.00	0.50	1.00	0.00	2.00
				20%以上50%未満	0.50	0.50	1.00	0.00	1.50
				20%未満	0.25	0.50	1.00	0.00	1.25
		借上、リース(ファイナンスリース除く)、下請保有船		0.00	0.50	1.00	0.00	1.00	

※保有形態の定義の明確化

- ①自社保有船については、100%自社所有の船舶の他、親会社が50%以上の株式を保有している子会社が所有する船舶をいう。
(ただし、子会社はその船舶を自社保有(100%所有)していなければならない。)また、申請者が最終的に所有者となることを前提として、便宜上、リース会社が建造し保有する船舶であって、且つ、実態として申請者が建造費を含めたリース料を払いつつ自社保有船と同等の維持・使用を行う(ファイナンスリース)船舶も自社保有船に含めることができる。
- ②共同保有船については、当該船舶の所有あるいは所有船舶の現行機能を保持するに当たり、新造、改良または機能の追加のために必要な経費を複数の者で負担している船舶をいう。

※環境性能達成とは、「現行の海防法に基づく窒素酸化物の放出量に係る放出基準(2次規制)」を満足しているもの、又は「経過措置として従前の海防法に基づく窒素酸化物の放出量に係る放出基準(1次規制)」を満足しているものをいう。

※当該工事で使用する作業船の複数申請は「可」とする。ただし、評価の一番低い作業船を加算点の対象とする。

※申請作業船の履行期間については、当該工事の該当工種施工期間の50%以上とする。

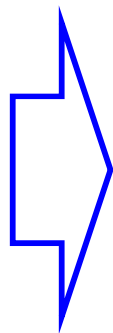
※借上、リース(ファイナンスリース除く)、下請保有の使用予定作業船は、当該県内に船籍港又は定係港が所在するものに限る。

1) 「使用作業船の保有形態及び環境性能達成状況」の配点②

◆配点ウエイトの見直しについては、現行の5段階評価から8段階評価へ見直す。

【現行】※①A等級対象、②A等級以外対象

評価	評価基準	配点(現行)	
		①	②
A	a)使用作業船を自社又は共同保有している b)当該作業船が環境性能を達成している	4.0 [a)、b)各2点]	2.0
B	a)使用作業船を自社又は共同保有している c)下請保有の使用予定作業船が環境性能を達成している	3.0 [a)2点、c)1点]	1.5
C	a)使用作業船を自社又は共同保有している	2.0	1.0
D	c)下請保有の使用予定作業船が環境性能を達成している	1.0	0.5
—	・上記以外	0.0	0.0



【見直し】※③④全等級対象

評価	評価基準	配点(見直し)	
		③	④
A	①使用作業船を自社保有又は共同保有(持ち分比率50%以上)している ①当該作業船が環境性能(2次規制)を達成している	4.0 [①2点,①2点]	2.0 [①1点,①1点]
B	①使用作業船を自社保有又は共同保有(持ち分比率50%以上)している ②当該作業船が環境性能(1次規制)を達成している または、 ②使用作業船を共同保有(持ち分比率20%以上50%未満)している ①当該作業船が環境性能(2次規制)を達成している	3.0 [①2点,②1点] または、 [②1点,①2点]	1.5 [①1点,②0.5点] または、 [②0.5点,①1点]
C	③使用作業船を共同保有(持ち分比率20%未満)している ①当該作業船が環境性能(2次規制)を達成している	2.5 [③0.5点,①2点]	1.25 [③0.25点,①1点]
D	①使用作業船を自社保有又は共同保有(持ち分比率50%以上)している または、 ②使用作業船を共同保有(持ち分比率20%以上50%未満)している ②当該作業船が環境性能(1次規制)を達成している または、 ④借上、リース(ファイナンスリース除く)、下請保有船が環境性能(2次規制)を達成している	2.0 [①2点] または、 [②1点,②1点] または、 [④2点]	1.0 [①1点] または、 [②0.5点,②0.5点] または、 [④1点]
E	③使用作業船を共同保有(持ち分比率20%未満)している ②当該作業船が環境性能(1次規制)を達成している	1.5 [③0.5点,②1点]	0.75 [③0.25点,②0.5点]
F	②使用作業船を共同保有(持ち分比率20%以上50%未満)している または、 ⑤借上、リース(ファイナンスリース除く)、下請保有船が環境性能(1次規制)を達成している	1.0 [②1点] または、 [⑤1点]	0.5 [②0.5点] または、 [⑤0.5点]
G	③使用作業船を共同保有(持ち分比率20%未満)している	0.5 [③0.5点]	0.25 [③0.25点]
—	・上記以外	0.0	0.0

【現行】

- ①施工能力評価型(Ⅱ型)[A型]、技術提案評価型(S型)
- ②施工能力評価型(Ⅰ型)[標準型、施工計画重視型]・(Ⅱ型)[標準型]

【見直し】

- ③施工能力評価型(Ⅱ型)、施工能力評価型(Ⅰ型)[標準型]、技術提案評価型(S型)
- ④施工能力評価型(Ⅰ型)[施工計画重視型]

2. 企業・技術者評価

(2) 「配置予定技術者等の能力」評価の見直し

1) 「配置予定技術者の地域精通度」の設定エリア

◆【配置予定技術者等の能力】のオプション項目の『配置予定技術者の地域精通度』の評価において、平成28年度工事で数件オプション設定し検証を行った結果、現行の設定エリア(市内・県内)では該当する技術者数が少ないため、設定エリアの拡大を行う。

【現行】

評価	評価基準	加算点
A	当該エリア（当該港（空港）の所在する市町村内）において、3件以上の工事で、監理（主任）技術者あるいは現場代理人として従事	2.0
B	・当該エリア（当該港（空港）の所在する当該県内）において、1件以上の工事で、監理（主任）技術者あるいは現場代理人として従事、または、 ・当該エリア（当該県内）において、3件以上の工事で、担当技術者として従事	1.0
—	該当なし	0.0



【見直し】

評価	評価基準	加算点
A	九州地方整備局（港湾空港関係）管内において、3件以上の工事で、監理（主任）技術者あるいは現場代理人として従事	2.0
B	九州地方整備局（港湾空港関係）管内において、1件以上の工事で、監理（主任）技術者あるいは現場代理人として従事、または、3件以上の工事で、担当技術者として従事	1.0
—	該当なし	0.0

3. 総合評価落札方式のタイプ毎の配点

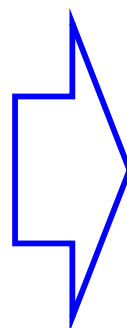
(1) 「配点割合」の見直し

【施工能力評価型(Ⅱ型)[標準タイプ、A等級向けタイプ]・(Ⅰ型)[標準型]】

◆【総合評価落札方式のタイプ毎】の『配点割合』において、《2.(1)1)「使用作業船の保有形態及び環境性能達成状況」の配点》の見直しに伴い、施工能力評価型(Ⅱ型)及び施工能力評価型(Ⅰ型)の配点ウェイトの見直しを行う。

【現行】

評価項目		施工能力評価型(Ⅱ型)			施工能力評価型(Ⅰ型)	
		[施工体制 確認型以外]	[標準型]	[A型]	[標準型]	[施工計画重視型]
施工計画		—	—	—	—	20
技術提案		—	—	—	—	—
施工能力等	企業評価	12	16	22	16	8
	技術者評価	12	16	18	16	8
地域貢献等		6	8	—	8	4
加算点満点		30	40	40	40	40



【見直し】

評価項目		施工能力評価型(Ⅱ型)			施工能力評価型(Ⅰ型)	
		施工体制 確認型以外	標準タイプ	A等級 向けタイプ	[標準型]	[施工計画重視型]
施工計画		—	—	—	—	20
技術提案		—	—	—	—	—
施工能力等	企業評価	12	18	20	18	8
	技術者評価	12	18	20	18	8
地域貢献等		6	4	—	4	4
加算点満点		30	40	40	40	40

3. 総合評価落札方式のタイプ毎の配点

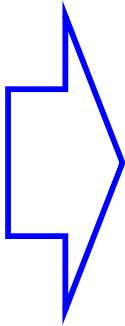
(2)「総合評価落札方式のタイプ毎のオプション選択数」の見直し

◆【企業の施工能力】の『総合評価落札方式のタイプ毎の評価項目』において、《(1)「配点割合」の見直し》に伴い、オプション選択数の見直しを行う。

③企業の施工能力

【現行】

評価の視点	評価項目	施工能力評価型 (II型)				施工能力評価型 (I型)			技術提案評価型 (S型)			
		[標準型]		[A型]		[標準型]		[施工計画重視型]	[チャレンジ型]	[標準型]		[チャレンジ型]
		加算点 30点	加算点 40点 作業船使用の有無	加算点 40点 作業船使用の有無	加算点 40点 作業船使用の有無	加算点 40点 作業船使用の有無	加算点 40点 作業船使用の有無	加算点 40点 作業船使用の有無	加算点 50点 作業船使用の有無	加算点 60点 作業船使用の有無	加算点 50点 作業船使用の有無	加算点 60点 作業船使用の有無
③ 企業の施工能力 オプション	施工機械等の自社保有状況	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	関連分野の技術開発の実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ISOの認証取得状況	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	建設業労働安全衛生マネジメントシステム等の認証取得状況	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下請予定者の表彰実績	0	1項目を選択	2項目を選択	3項目を選択	5項目を選択	1項目を選択	2項目を選択	1項目を選択	1項目を選択	1項目を選択	1項目を選択
	技術的所見力の評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	技術提案力の評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	工事の手持ち状況	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	技術アドバイザー体制の評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	技術提案得点取得率の評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



【見直し】

評価の視点	評価項目	施工能力評価型 (II型)				施工能力評価型 (I型)			技術提案評価型 (S型)			
		標準タイプ		A等級向けタイプ		[標準型]		[施工計画重視型]	[チャレンジ型]	標準タイプ		[チャレンジ型]
		加算点 30点	加算点 40点 作業船使用の有無	加算点 40点 作業船使用の有無	加算点 40点 作業船使用の有無	加算点 40点 作業船使用の有無	加算点 40点 作業船使用の有無	加算点 40点 作業船使用の有無	加算点 40点 作業船使用の有無	加算点 50点 作業船使用の有無	加算点 60点 作業船使用の有無	加算点 50点 作業船使用の有無
③ 企業の施工能力 オプション	施工機械等の自社保有状況	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	関連分野の技術開発の実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ISOの認証取得状況	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	建設業労働安全衛生マネジメントシステム等の認証取得状況	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下請予定者の表彰実績	0	1項目を選択	3項目を選択	1項目を選択	3項目を選択	1項目を選択	3項目を選択	1項目を選択	1項目を選択	1項目を選択	1項目を選択
	技術的所見力の評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	技術提案力の評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	工事の手持ち状況	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	技術アドバイザー体制の評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	技術提案得点取得率の評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2)「総合評価落札方式のタイプ毎のオプション選択数」の見直し②

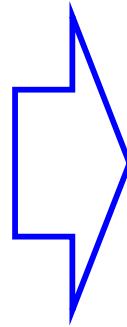
④配置予定技術者の施工能力

【現行】

評価の視点	評価項目	施工能力評価型 (II型)						施工能力評価型 (I型)			技術提案評価型 (S型)					
		施工体制確認型以外 加算点 30点	【標準型】		【A型】		【標準型】 加算点 40点	【施工計画重視型】		【チャレンジ型】 加算点 40点	加算点 50点		加算点 60点		【チャレンジ型】 加算点 50点 加算点 60点	
			あり	なし	あり	なし		あり	なし		あり	なし	あり	なし		
④ 配置予定技術者の能力 オプション	建設系の継続教育 (CPD) の実施状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	配置予定技術者の資格	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	配置予定技術者の年齢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	配置予定技術者の地域精通度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	配置予定現場従事者の表彰	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	配置予定現場従事者の資格	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	配置予定現場従事者の年齢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【見直し】

評価の視点	評価項目	施工能力評価型 (II型)						施工能力評価型 (I型)			技術提案評価型 (S型)					
		施工体制確認型以外 加算点 30点	標準タイプ		A等級向けタイプ		【標準型】 加算点 40点	【施工計画重視型】		【チャレンジ型】 加算点 40点	標準タイプ		【チャレンジ型】			
			あり	なし	あり	なし		あり	なし		あり	なし	あり	なし		
④ 配置予定技術者の能力 オプション	建設系の継続教育 (CPD) の実施状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	配置予定技術者の資格	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	配置予定技術者の年齢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	配置予定技術者の地域精通度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	配置予定現場従事者の表彰	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	配置予定現場従事者の資格	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	配置予定現場従事者の年齢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



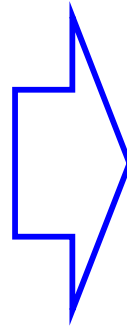
⑤地域貢献等

【現行】

評価の視点	評価項目	施工能力評価型 (II型)						施工能力評価型 (I型)			
		施工体制確認型以外 加算点 30点	【標準型】		【A型】		【標準型】 加算点 40点	【施工計画重視型】		【チャレンジ型】 加算点 40点	
			あり	なし	あり	なし		あり	なし		
⑤ 地域貢献等 オプション	近隣地域内工事の実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	工事の確実かつ円滑な実施体制としての拠点	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ボランティア活動【(港湾関係に限る)】による地域貢献の実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	災害時に活用できる作業船の自社保有状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	継続的な技術者保有に基づく信頼度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	継続的な営業に基づく信頼度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【見直し】

評価の視点	評価項目	施工能力評価型 (II型)						施工能力評価型 (I型)			
		施工体制確認型以外 加算点 30点	標準タイプ		A等級向けタイプ		【標準型】 加算点 40点	【施工計画重視型】		【チャレンジ型】 加算点 40点	
			あり	なし	あり	なし		あり	なし		
⑤ 地域貢献等 オプション	近隣地域内工事の実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	工事の確実かつ円滑な実施体制としての拠点	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ボランティア活動【(港湾関係に限る)】による地域貢献の実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	災害時に活用できる作業船の自社保有状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	継続的な技術者保有に基づく信頼度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	継続的な営業に基づく信頼度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



3. 総合評価落札方式のタイプ毎の配点

(3) 「企業の施工能力 工事实績(同種性)の評価」の配点

【施工能力評価型(Ⅱ型)[A等級向けタイプ】】

◆【企業の施工能力】の必須項目の『工事实績(同種性)の評価』において、施工能力評価型(Ⅱ型)[A等級向けタイプ]の配点ウェイトの見直しを行う。

【現行】

評価	施工能力評価型(Ⅱ型)				
	施工体制確認型以外	[標準型]		[A型]	
		作業船使用の有無		作業船使用の有無	
		あり	なし	あり	なし
A評価	4.00 点	4.00 点	4.00 点	4.00 点	4.00 点
-評価	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点



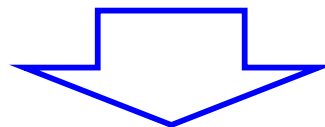
【見直し】

評価	施工能力評価型(Ⅱ型)				
	施工体制確認型以外	標準タイプ		A等級向けタイプ	
		作業船使用の有無		作業船使用の有無	
		あり	なし	あり	なし
A評価	4.00 点	4.00 点	4.00 点	6.00 点	6.00 点
-評価	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点

4. オーバースペック等の理由により評価しない 技術提案の見直し

【現行】

番号	分類	工種区分	技術テーマ	評価しない提案内容	判定	備考
19	共通	共通	性能・機能 (コンクリート関係)	コンクリート打継ぎ面(目)への止水材設置、止水剤塗布、打継目処理剤使用	オーバースペック	
53	港湾	共通	特別な安全対策	作業船に国際VHF無線搭載	オーバースペック	



【見直し】

番号	分類	工種区分	技術テーマ	評価しない提案内容	判定	備考
19	共通	共通	性能・機能 (コンクリート関係)	コンクリート打継ぎ面(目)への止水材設置、止水剤塗布、打継目処理剤、打継目接着剤使用	オーバースペック	打継目接着剤を使用する提案は、現場条件等を考慮して、特に効果が高いと評価できる場合に評価する。
53	港湾	共通	特別な安全対策	作業船に国際VHF無線搭載	オーバースペック	
78	空港	空港舗装工	性能・機能 (アスファルト関係)	基本施設(滑走路・誘導路)の施工継目部における目地シール(テープ含む)の使用	オーバースペック	